

銅賞 石井 旭君

北海道大学工学部建築都市学科 建築／地形 **Eco-Museum in Harutori Lake**

釧路市春採湖に建つランドスケープ・アーキテクチャーといえるエコ・ミュージアムの提案である。地形の読み込みからの建築形態へと発展、水平に線的に伸びる空間を詩的に作りこんでいる点でスケール感の破綻もなくうまくいっている。ただし、エコ・ミュージアムとしての施設側の、そして来訪者側のアクティビティをどうしようとしているのかに対する説明がやや希薄である。よってその答えとしての空間は読み取れず、単なる美しい観察施設で終わっているようだ。道筋を立てた説明を効果的に伝達する明快な図式を加えれば良かったのだが。

(文責：鳥海 良晴)